

1、 令和1年度 事業報告

◎独自性の保育の展開

令和1年度は、民営化2年目を迎え独自性も加え運営を行いました。

制服等の導入、保育園 ICT システムの導入、以上児の主食（ごはん）の提供を導入いたしました。

また、グループの運動部の指導による運動を取り入れ、子どもの体幹強化や体作りに取り組みました。同時に、年長児に茶道教室を取り入れ、静と動の両立を図りました。

◎運営体制

平成30年度末に、主任保育士及び保育士1名、事務職員1名、調理員1名、合計4名の退職がありました。保育士の減員については、シフト勤務時間の調整などにより支障はありませんでした。

調理員については求人を行いました、退職され、減員のままでした。

事務職員については、余剰人員であったため影響はありません。

◎保育利用者の確保

令和1年度は、未満児（0歳児）の定員を増加させたことにより、前年度より多くの定員確保ができました。

◎保育の質の向上、保護者支援の展開

自己評価を行うなかで、現時点の問題点や課題点を見直すことができました。また、無記名での保護者アンケートを行い、保護者の率直な意見が分かりました。

保育士の研修への参加や園内研修を行い、さらに保育の質の向上にむけ解決に取り組みました。